令和８年１０月２２日

国立大学法人福井大学長
内木　宏延　　殿

国立大学法人福井大学
学長選考・監察会議議長
藤　林　康　久

令和７年度業務執行状況の確認結果について（通知）

国立大学法人福井大学学長選考・監察会議規則第４条に基づき、令和７年度における業務執行状況の確認を行いましたので、結果を下記の通り通知いたします。

記

１．確認方法について

第２１回学長選考・監察会議（令和８年１０月１４日開催）において、以下の資料及び学長へのヒアリング並びに監事からの意見聴取に基づき、確認を行った。

・学長選考時の所信表明資料
・令和８年度中期目標・中期計画の進捗に係る自己点検・評価報告書
（評価対象：令和７年度）
・令和７事業年度監査報告書
・ヒアリング時のプレゼン資料

２．確認結果について

（１）学長就任の初年度にあたり、学長選考時の所信に掲げた方針に基づき、意思決定プロセスの合理化とステークホルダーとの協働強化により、所信の実現に向けた基盤整備が進められており、学長のリーダーシップの下、業務は着実に執行されていることを確認した。

（２）経営・ガバナンスについては、法定会議及び全学委員会の審議プロセスの見直しを行うとともに、教職協働推進室を設置する等、所信で示した方針が体制整備として実行に移されている。財務面でも、公募事業へのプロジェクトチーム等での組織的な対応により補助金等の交付額が増加しているほか、学長自ら寄附募集活動を行う等、財政基盤の確保に向けた取組が継続されている。

（３）教育・研究については、初等中等教育からの切れ目のない理系人材育成を目指す「未来協働プラットフォームふくい」の構築において先導的な役割を果たしている。また、本学からの働きかけによる県内就職促進事業補助金の創設や、「ふくい宙クロスイノベーション推進拠

点」の内閣府事業への採択等、「社会共創大学」の実現に向けて、地域と連携した取組が具体化している。さらに、所信において重点として掲げた医工連携及びグローバル化についても、オタワ大学との共同研究コンソーシアム立ち上げに関する合意や「ふくいアライアンス」の設立等、取組に着手している。

（４）第４期中期目標・中期計画については、評価指標の多くで目標が達成されており、一部の未達成の指標についても、教職協働のプロジェクトチームによる対応が進められている。

（５）以上を踏まえ、今後は、所信に掲げたビジョン及び進行中のプロジェクトの意義や目指す方向性を学内に発信し、教職員と共有しながら、各取組を具体的な成果に結び付けること、また、中期目標・中期計画の達成とともに、学長が掲げる「社会を共に創る大学」の実現に向けて業務が実施されることを一層期待したい。